
1504 . 入出港届等情報照会

業務コード	内 容
I G D	入出港届等情報照会

1. 業務概要

便名を入力することにより、入港届情報、出港届情報、入港における乗組員情報、出港における乗組員情報、入港における旅客情報、または出港における旅客情報を照会する。また、航空機登録記号を入力することにより、入港届情報または出港届情報を照会することも可能とする。

2. 入力者

税関、入国管理局、検疫所、航空会社

3. 制限事項

なし

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

(A) 入力者が航空会社以外の場合

システムに登録されている利用者であること。

(B) 入力者が航空会社の場合

システムに登録されている利用者であること。

システムに機長代行者として登録されている利用者であること。

照会種別が入港届情報の場合は、入港情報DBに登録されている入港届情報を登録した利用者と同一であるか、入力された航空会社（便名先頭2桁）において、予め空港単位に登録された代表利用者、または乗組員委託先利用者と同一であること。ただし、入港情報DBに登録されている入港届情報を登録した利用者が税関の場合は、照会不可とする。

照会種別が出港届情報の場合は、出港情報DBに登録されている出港届情報を登録した利用者の航空会社コードと入力者の航空会社コードが同一であること。ただし、出港情報DBに登録されている出港届情報を登録した利用者が税関の場合は、照会不可とする。

照会種別が入港における乗組員情報の場合は、乗組員・旅客情報DBに登録されている入港における乗組員情報を登録した利用者と同一であるか、入力された航空会社（便名先頭2桁）において、予め空港単位に登録された代表利用者、または乗組員委託先利用者と同一であること。

照会種別が出港における乗組員情報の場合は、乗組員・旅客情報DBに登録されている出港における乗組員情報を登録した利用者と同一であるか、入力された航空会社（便名先頭2桁）において、予め空港単位に登録された代表利用者、または乗組員委託先利用者と同一であること。

照会種別が入港における旅客情報の場合は、乗組員・旅客情報DBに登録されている入港における旅客情報を登録した利用者と同一であるか、入力された航空会社（便名先頭2桁）において、予め空港単位に登録された代表利用者、または旅客委託先利用者と同一であること。

照会種別が出港における旅客情報の場合は、乗組員・旅客情報DBに登録されている出港における旅客情報を登録した利用者と同一であるか、入力された航空会社（便名先頭2桁）において、予め空港単位に登録された代表利用者、または旅客委託先利用者と同一であること。

、 ~ のチェックについては別紙「入力者チェック」を参照

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」を参照

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」を参照(3)入港情報DBチェック

入港届情報を照会する場合に以下のチェックを行う。

(A) 便名が入力された場合

- (a) 便名のみが入力された場合
入力された便名に対する入港情報が存在すること。
 - (b) 便名及び空港 1 が入力された場合
入力された便名及び到着空港に対する入港情報が存在すること。
 - (B) 航空機登録記号が入力された場合
 - (a) 航空機登録記号のみが入力された場合
入力された航空機登録記号に対する入港情報が存在すること。
 - (b) 航空機登録記号及び空港 1 が入力された場合
入力された航空機登録記号及び到着空港に対する入港情報が存在すること。
- (3) 出港情報 D B チェック
出港届情報を照会する場合に以下のチェックを行う。
- (A) 便名が入力された場合
 - (a) 便名のみが入力された場合
入力された便名に対する出港情報が存在すること。
 - (b) 便名及び空港 1 が入力された場合
入力された便名及び出発空港に対する出港情報が存在すること。
 - (B) 航空機登録記号が入力された場合
 - (a) 航空機登録記号のみが入力された場合
入力された航空機登録記号に対する出港情報が存在すること。
 - (b) 航空機登録記号及び空港 1 が入力された場合
入力された航空機登録記号及び出発空港に対する出港情報が存在すること。
- (4) 乗組員・旅客情報 D B チェック
- (A) 入港の乗組員情報を照会する場合
 - (a) 便名のみが入力された場合
入力された便名に対する入港の乗組員情報が存在すること。
 - (b) 便名及び空港 1 が入力された場合
入力された便名及び提出先空港に対する入港の乗組員情報が存在すること。
 - (c) 便名、空港 1 及び空港 2 が入力された場合
入力された便名、提出先空港及び他国からの最終出発空港に対する入港の乗組員情報が存在すること。
 - (B) 出港の乗組員情報を照会する場合
 - (a) 便名のみが入力された場合
入力された便名に対する出港の乗組員情報が存在すること。
 - (b) 便名及び空港 1 が入力された場合
入力された便名、提出先空港に対する出港の乗組員情報が存在すること。
 - (c) 便名、空港 1 及び空港 2 が入力された場合
入力された便名、提出先空港及び最初の到着地空港に対する出港の乗組員情報が存在すること。
 - (C) 入港の旅客情報を照会する場合
 - (a) 便名のみが入力された場合
入力された便名に対する入港の旅客情報が存在すること。
 - (b) 便名及び空港 1 が入力された場合
入力された便名及び提出先空港に対する入港の旅客情報が存在すること。
 - (c) 便名、空港 1 及び空港 2 が入力された場合
入力された便名、提出先空港及び他国からの最終出発空港に対する入港の旅客情報が存在すること。

(D) 出港の旅客情報を照会する場合

(a) 便名のみが入力された場合

入力された便名に対する出港の旅客情報が存在すること。

(b) 便名及び空港1が入力された場合

入力された便名、提出先空港に対する出港の旅客情報が存在すること。

(c) 便名、空港1及び空港2が入力された場合

入力された便名、提出先空港及び最初の到着地空港に対する出港の旅客情報が存在すること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合に処理結果コード「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、「00000-0000-0000」以外の処理結果コードを設定の上、出力情報出力処理を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) 入港届照会情報編集処理

照会種別が入港届情報の場合は、入港情報DBより入港届情報の編集を行う。

(3) 出港届照会情報編集処理

照会種別が出港届情報の場合は、出港情報DBより出港届情報の編集を行う。

(4) 乗組員照会情報編集処理

照会種別が入港における乗組員情報の場合は、乗組員・旅客情報DBより入港における乗組員情報の編集を行う。

照会種別が出港における乗組員情報の場合は、乗組員・旅客情報DBより出港における乗組員情報の編集を行う。

(5) 旅客照会情報編集処理

照会種別が入港における旅客情報の場合は、乗組員・旅客情報DBより入港における旅客情報の編集を行う。

照会種別が出港における旅客情報の場合は、乗組員・旅客情報DBより出港における旅客情報の編集を行う。

(6) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(7) 注意喚起メッセージ出力処理

出力された情報の他に照会対象となる情報が存在する場合は、注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
入港届照会情報	照会種別が入港届情報の場合 (「照会種別」の単項目エラーの場合を含む)	入力者
出港届照会情報	照会種別が出港届情報の場合	入力者
乗組員照会情報	照会種別が入港における乗組員情報または出港における乗組員情報の場合	入力者
旅客照会情報	照会種別が入港における旅客情報または出港における旅客情報の場合	入力者